

ビッグデータを活用し、加入意向の高いお客様を予測するシステムを開発 ～成約率の向上を実現～

朝日生命保険相互会社(社長：木村博紀)は、営業活動の効率化と成約率の向上を目指し、日本アイ・ビー・エム株式会社が提供するデータ分析システム「IBM SPSS Modeler[※]」を導入し、ご加入意向の高いお客様を予測するシステムを開発しました。本システムを使用し、ご加入意向の高いお客様を抽出の上、ご提案した結果、通常のお客様に比べ成約率が向上しました。

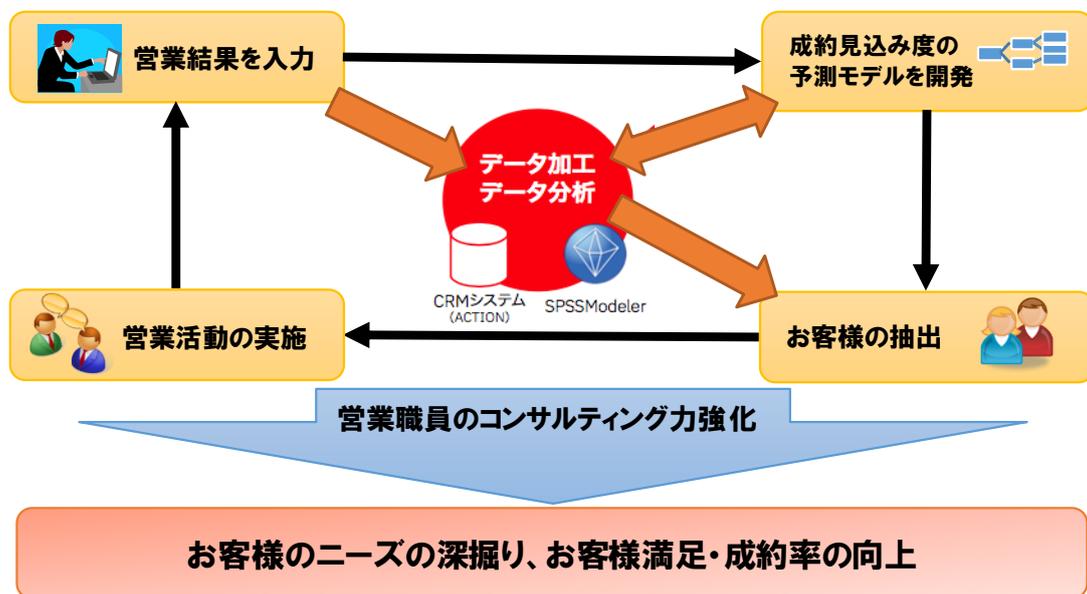
当社では、2012年にお客様に関する各種データを統合したCRMシステム「ACTION」を稼働させるなど、従来よりデータ活用のための基盤整備に着手し、お客様のデータを蓄積・分析の上、その結果を営業活動に役立てる取組みを行ってきました。

こうした中、2016年にデータ分析システム「IBM SPSS Modeler」を試験導入し、これまでに蓄積したビッグデータを分析し、加入意向が高いと判断されるお客様を抽出し、試験的に提案を実施しました。通常のお客様と比較した結果、本システムで抽出したお客様の方が、成約率が高いという結果が得られたことから営業活動プロセスに本システムを組み込み、本格展開することとしました。

今後は、データ分析結果に基づいて、営業職員一人ひとりに、お客様にお勧めすべき商品を示すなど、営業活動内容についてのアドバイスを自動配信する仕組みの構築等を目指します。

当社は引き続き、営業職員のコンサルティング力を強化し、お客様のニーズを見極め、ニーズに合った商品をご提案することにより、お客様満足度の向上に努めてまいります。

本システムのイメージ図



※データ分析システム「IBM SPSS Modeler」

「IBM SPSS Modeler」は、高度なデータ分析のための統計解析ソフトウェア。大量のデータから正確な予測モデルを素早く構築し、企業や個人のより良い意思決定を支援します。すぐれたデータ加工機能、高度なデータ分析アルゴリズムを搭載し、グラフィカルな対話型ユーザーインターフェースで直感的に操作することができます。

以 上

*本ニュースリリースは、朝日生命保険相互会社、日本アイ・ビー・エム株式会社の共同ニュースリリースです。
重複して配信される場合がありますことをご了承願います。